

2025年度研究助成事業「指定課題研究」テーマ

2025年度	テーマご提案	目的・問題意識	期待される成果等	テーマに関連するキーワード
1	人生100年時代の「健康」に関する研究	WHOの健康の定義「身体的・精神的・社会的に完全に良好(well being) な状態であり、単に疾病や困難がないことではない」については、1948年のWHO憲章での提唱以降、コンセンサスが得られるものは提唱されていない。一方でHuberらのPositive HealthやWHO Healthy Ageingにおけるfunctional abilityといった「動的」かつ「能力」としての健康概念が注目されているが、その理論的な掘り下げや実際の健康づくりの取り組みへの実装法については十分な知見が得られていない。人生100年時代と言われる長寿社会が到来する中で、健康やwell being、医療などについて掘り下げることが期待する。	今日的な健康の定義やその活用方法が提唱される。また、人生100年時代の健康に関連して、長寿、well-being、医療、福祉など、周辺領域の研究の成果も期待できる。	健康、長寿、ウェルビーイング、医療、福祉
2	地球環境に配慮した保健医療に関する研究	気候変動の加速や生物多様性の損失等により、パンデミックなど感染症リスクの増大、自然災害の増加、熱中症等、様々な健康への影響がもたらされており、その解決が喫緊の課題になっている。 地球環境への負担の大きな医療活動は、地球環境悪化に加担することで将来世代の生存リスクを増大する結果、現代世代と将来世代の間の健康格差を拡大させることとなる。しかし、医療活動がどの程度地球環境に影響を及ぼしているかを評価するための情報基盤や測定手法は限られている。また、環境と保健医療の双方に利益の大きな活動モデルやその効果に関する知見も限られている。そこで、環境に配慮した医療活動に資する基礎的・応用的研究の推進が期待される。	水環境なども含めた地球環境の健康への影響を評価するような研究が期待される。 データや理論に基づくSDGsの推進、とりわけ医療産業分野の貢献に資する。	気候変動、生物多様性、大気汚染、プラネタリーヘルス、ワンヘルス、環境に配慮した保健医療活動の推進、医療の自然環境負荷の推計
3	保健医療分野のデジタルトランスフォーメーション	従来の医療科学は過去のデータを事後的に分析することで、医療はどう「ある」のかを研究してきた。データ整備や活用が進むなかで、医療をどう「する」のかに貢献する医療科学が求められるようになってきている。その象徴が、データ蓄積ではなく、その活用によるイノベーションDXである。医療科学分野におけるDXについて、その要件や可能性、具体的な事例について示すことは、今後のDXについて推進に寄与すると思われる。	医療科学分野におけるDXの理論的、具体的な事例研究や、それらを支援する政策や課題についてあきらかにすることで、医療科学分野におけるDXを加速することが期待できる	DX（デジタルトランスフォーメーション）、ビッグデータベース整備と活用、データサイエンス、AI（人工知能）、シミュレーション